

東京都美術館×東京藝術大学
「とびらプロジェクト」フォーラム

「とびらスタイル!」で行きましょう。 美術館×大学×とびラーのコミュニティデザイン

平成27年2月22日(日)

第一部

クロストーク+パネルディスカッション

クロストーク:「本気の気持ちが生まれる場」森司×稲庭彩和子

パネルディスカッション:「とびらスタイル」のキーワード」

日比野克彦・西村佳哲・森司・稲庭彩和子・伊藤達矢

会場/東京都美術館 講堂 時間/13:00~15:30 開場:12:30

定員/225名(参加無料、事前申込制、先着順 ※定員になり次第締め切ります。)

平成24年からはじまった「とびらプロジェクト」も3年目となり、アート・コミュニケータ(とびラー)は、これまで様々な活動に取り組んできました。特に、連動している「Museum Start あいうえの」(上野公園に集まる9つの文化施設を連携させ、子供たちから学び、子供たちと学ぶプロジェクト)では、より多くの人と人、人と場所、人とアートをつなげる役割を果たしてきました。今回のフォーラムでは、「とびらプロジェクト」や「Museum Start あいうえの」でのとびラーの活動を振り返りながら、3年間で培ってきた「とびらスタイル」とは何かをさぐり、とびらプロジェクトの今後の展望について語ります。



日比野克彦

東京藝術大学美術学部
先端芸術表現科 教授
とびらプロジェクト代表教員



西村佳哲

働き方研究家
リビングワールド代表



森司

東京文化発信プロジェクト室
地域文化交流推進担当課長



稲庭彩和子

東京都美術館学芸員
アート・コミュニケーション担当係長



伊藤達矢

東京藝術大学美術学部特任助教
とびらプロジェクトマネージャ

第二部

オープンスペース・カフェ

会場/東京都美術館 アートスタディールーム(交流棟2階)

時間/16:00~17:30

「とびらプロジェクト」の活動拠点を公開し、参加者同士がフランクに対話できるカフェを開きます。また、普段の活動を知って頂くための資料を用意し、パネリストやアート・コミュニケータ(とびラー)が皆様からの率直な質問にも答えます。お気軽にお越しください。

参加申込方法

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内フォーラム申込フォームからお申し込みください。

とびらプロジェクト 検索 <http://www.tobira-project.info>

主催/東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京藝術大学美術学部 企画・運営/東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」
2014 © Tokyo Metropolitan Art Museum Design: Mai Kuriyagawa (STUBBIE DESIGN)

メール open@tobira-project.info

問い合わせ Tel: 03-3823-6921 (アート・コミュニケーション事業担当)



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



東京藝術大学

募集人数
40名

募集!

とびラー

「アート・コミュニケータ」を
「とびラー」とよびます。

「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館と
東京藝術大学が連携して行なう
アート・コミュニティ形成事業です。

人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、美術館に集まる多種多様な人々との
コミュニケーションを大切にし、そこから創出される新しい価値を
社会に届けることで、アートを介したコミュニティを育てていきます。
今年も活動の主体となるアート・コミュニケータ(とびラー)を
40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、
あなたもアート・コミュニケータ(とびラー)として活動に参加してみませんか。
「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の
専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト

とびらプロジェクトはアートを通して人々の中の新しい価値を育む活動を目指しています。

例えばこんな活動

- ・人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場(コミュニティ)づくり
- ・本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム
- ・障害のある方々など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催
- ・建築家・前川國男が設計した東京都美術館など建築物を活用したツアー
- ・美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施(学校との連携)
- ・上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進(「Museum Start あいうえの」との運動)



東京都美術館のミッション

東京都美術館は、「アートへの入口」となることを目指します。展示会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある人も何のためらいもなく来館できる美術館となります。訪れた人が、新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」に出会える場とします。これらを実現することで、東京都美術館が人びとの「心のゆたかさの拠り所」となるようにします。



東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が生きる社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。

応募条件

- 18歳以上の方(平成27年4月1日現在、高校生を除く)で、日本語で日常会話ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館のミッション(使命)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 平成27年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方
- 平成27年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
- 電子メールでの連絡が可能な方(パソコンでのメール送受信が可能な方)

活動条件

- アート・コミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、講座及び随時開催される研修に無料で参加できます。
- アート・コミュニケータの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人と美術館双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。
- とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

活動場所

東京都美術館および、東京藝術大学など。

応募方法

- 以下の書類を郵送してください。
 - 応募用紙:<アート・コミュニケータ応募用紙>に必要事項を記入してください。
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。
<http://tobira-project.info/>
 - 文章課題:A4用紙1枚(記載様式自由)
 - 返信用封筒1通 定形封筒(長形3号)に82円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の住所、氏名を記入してください。
 - 郵送の際には、封筒の表面に「アート・コミュニケータ応募書類在中」と朱記してください。
- 応募受付期間:平成27年1月26日(月)～2月27日(金) 消印有効

書類郵送先

東京都美術館 アート・コミュニケータ募集担当宛 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

その他

一度提出して頂いた応募用紙等の書類は返却いたしません。
応募者の個人情報は、アート・コミュニケータの選考に関する以外には一切使用しません。

文章課題

1次選考

アート・コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べて下さい。美術館の体験でなくてもかまいません。
(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

とびらプロジェクトの活動についてはウェブサイトをご参照下さい。 →

関連ウェブサイト「Museum Start あいうえの」 →

選考

応募受付

応募受付期間:平成27年1月26日(月)～2月27日(金) 消印有効

1次選考

書類審査:選考結果は平成27年3月6日(金) 発送で応募者全員にお知らせします。

2次選考

面接審査:平成27年3月13日(金)～15日(日)のいずれか1日。
選考結果は平成27年3月27日(金) 発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

講座内容

① 基礎講座

日程:平成27年4月11日、25日、5月9日、23日、6月6日、20日(すべて土曜日)

場所:主に東京都美術館 アートスタディールーム(交流棟2階)

内容:東京都美術館をはじめとした、美術館活動に関する講義のほか、ディスカッション、ワークショップなど、体験・実践を重視した内容です。また、活動に必要な話し方、きく力、ホスピタリティなどについても学びます。

② 実践講座

平成27年7月から実践講座を開講します。詳細は受講者に対して別途ご連絡します。

主な講師

日比野克彦(東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科 教授/とびらプロジェクト代表教員)

西村佳哲(働き方研究者/リビングワールド代表)

森司(東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当課長)

稲庭彩和子(東京都美術館学芸員 アート・コミュニケーション担当係長)

伊藤達矢(東京藝術大学美術学部特任助教/とびらプロジェクトマネージャ)

